

Il colloquio in lingua giapponese è articolato in tre fasi:

1. Autopresentazione in giapponese. La/il candidata/o presenterà se stesso/a, la propria famiglia, i propri interessi, le ragioni per cui ha scelto di studiare il giapponese, progetti futuri, ecc. (2 min. ca).
2. Breve test di grammatica/sintassi di livello base. La/il candidata/o svolgerà dieci esercizi a scelta multipla strutturati come negli esempi seguenti (5 min. ca).

電気が（消えて・消して）いますから、もう事務所には誰もいないようです。
まりさんは明後日から東京本社に（見学・転勤）することに（なった・した）。

3. Lettura e comprensione di un brano tipo quello sotto riportato. Il docente lascerà il tempo di leggere il brano e porrà poi alla/al candidata/o domande relative (5 min. ca).

おべんとうと梅ぼし

おべんとうは、一日中外で働いたり、旅行をしたりするとき、どこでもできる食事です。「べんとう」という言葉は、「べんりな」ものという意味の中国語からできたとされています。外では、茶わんや皿などがあまりたくさん使えません。主食のご飯もおかずも全部一つの箱に入れて持って行く「べんとう」は、とても便利なものです。

さめてもおいしい日本の米はおべんとうに向いています。中でも一番手軽なのが、食べやすくにぎった「おにぎり」です。その始まりは、弥生時代(BC1世紀ごろ)とも平安時代(794-1192年)とも言われます。鎌倉時代(1185年頃-1333年)には、梅ぼしを入れたおにぎりを、戦場で武士に配りました。梅ぼしは疲れをとる、ご飯もくさりにくくなるので、今でも人気があります。また、白いご飯のまん中に赤い梅ぼしを入れたおべんとうは、「日の丸べんとう」の名前で親しまれています。

